

## 平成30年度精神科専門薬剤師認定試験

### 出題基準

精神科薬物療法認定薬剤師認定試験出題基準に加え、下記の3項目も含める。

1. 精神保健福祉に関する法律(医療観察法、障害者自立支援法など)
2. 向精神薬に関する基礎薬理
3. 新薬(海外で既に使用されている薬剤、国内で治験が許可されている薬剤など)に関する知識

#### 参考図書の追加

- 「ストール精神薬理学エッセンシャルズ 神経科学的基礎と応用 第4版」  
(メディカルサイエンスインターナショナル)
- 「臨床精神神経薬理テキスト 第3版」(星和書店)
- 「精神科薬物療法マニュアル」(南山堂)

**対象疾患：ICD-10 で精神及び行動の障害（F00 - F99）に分類される疾患**

認知症、アルコール・薬物依存症、統合失調症、気分障害、  
神経症・心身症、睡眠障害、発達障害等

(1) 精神疾患の診断と治療

各精神疾患について下記の項目が説明できる。

- ①疫学、成因
- ②診断基準
- ③評価尺度
- ④病態
- ⑤治療方法

(2) 精神疾患の薬物治療

各精神疾患の治療に使用される薬物について下記の項目が説明できる。

- ①向精神薬の分類
- ②使用目的
- ③薬理作用
- ④効果、副作用、相互作用、禁忌薬
- ⑤薬物動態、剤形、用法・用量

(3) 薬学的管理業務

各精神疾患患者に対する薬物治療について下記の項目について説明できる。

- ①薬物治療の目的、効果、副作用とその対処法
- ②副作用のモニタリングの方法や意義
- ③効果的な薬物治療の提案

(4) 精神疾患患者への心理教育、コミュニケーションスキル

- ①心理教育についての目的、理論、効果について説明できる。
- ②心理教育の実践、評価が説明できる。

(5) 精神疾患と法律

精神保健福祉法の下記の項目について説明できる。

- ①精神保健指定医、特定医師の役割
- ②入院形態、処遇

<参考図書>

1. 薬剤師の強化書 精神科薬物療法の管理 (南山堂)
2. 薬剤師レジデントライブラリー「臨床精神薬学」(南山堂)
3. 観察者による精神科領域の症状評価尺度ガイド改訂第3版 (じほう)
4. わかりやすい SST ステップガイド(星和書店)
5. 家族教室のすすめ方(金剛出版)
6. 認知症疾患診療ガイドライン 2017 (医学書院)

精神科専門薬剤師認定試験問題例 (見本)

【問題 1】 大うつ病性障害の症状に関する記述について、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 大うつ病性障害では、身体症状は認められない。
2. 精神症状として、注意集中困難、思考・行動制止、自殺念慮などがある。
3. 幻覚も時にみられるが比較的稀である。
4. 精神症状は午前より、午後のほうが重篤である傾向を示す。
5. 特徴的な身体症状として、過眠、食欲増進、体重増加などがある。

【問題 2】 内因性精神障害に分類される疾患として誤っているのはどれか。2つ選べ。

1. 大うつ病
2. アルコール依存症
3. 消化性潰瘍
4. 統合失調症
5. 双極性障害

【問題 3】 高プロラクチン血症と最も関係する脳部位について、正しいのはどれか。 1つ 選べ。

1. 脳下垂体
2. 黒質
3. 縫線核
4. 側坐核
5. 線条体